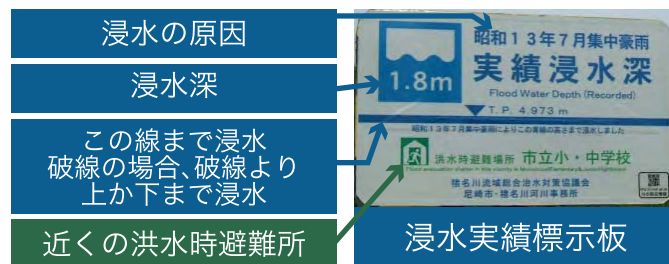


猪名川流域内の浸水実績標示板をご存知ですか？

猪名川流域内の浸水実績標示板は、人々が暮らすまちの中に、これまでに実際に発生した洪水に関する情報を「標識」として標示することで、普段から洪水への関心を高めます。「このあたりまで危険が及ぶ」「ここに避難すればよい」という意識を人々に常に持っていただき、万一の場合の安全かつスムーズな避難行動につなげ、洪水による被害を最小限にとどめることが目的で設置されています。



設置されている標示板の一部を下に紹介します。

これら以外の場所にも設置されていますので探してみましょう！

川西市



川西市中央町



川西市多田院



川西市多田院西

池田市



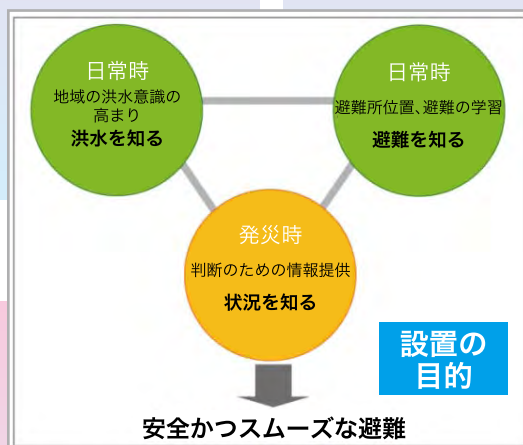
池田市木部町177



池田市木部町205



池田市古江町160



伊丹市



伊丹市口酒井字北町



伊丹市岩屋字桃ヶ本



伊丹市岩屋字町田



尼崎東園田町田能字三保

尼崎市



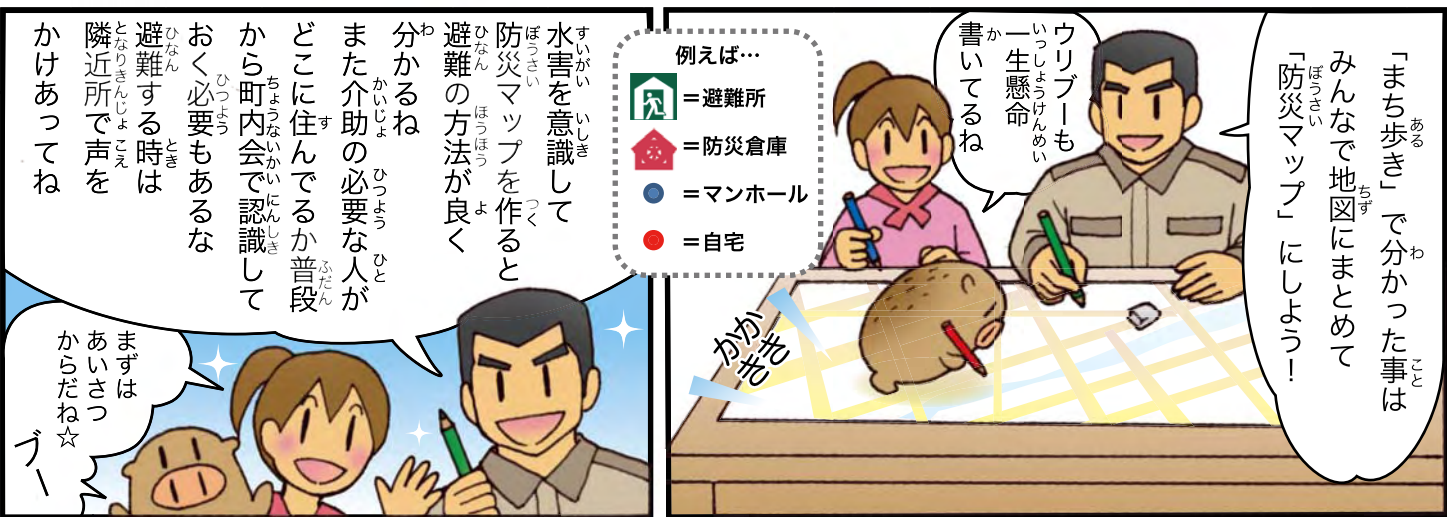
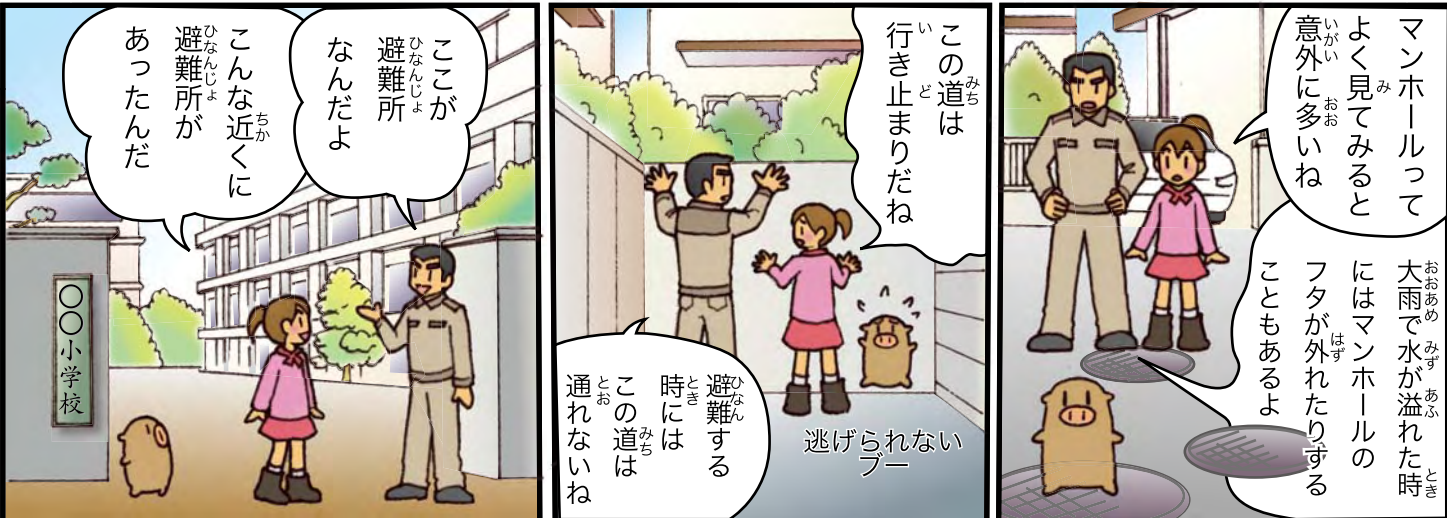
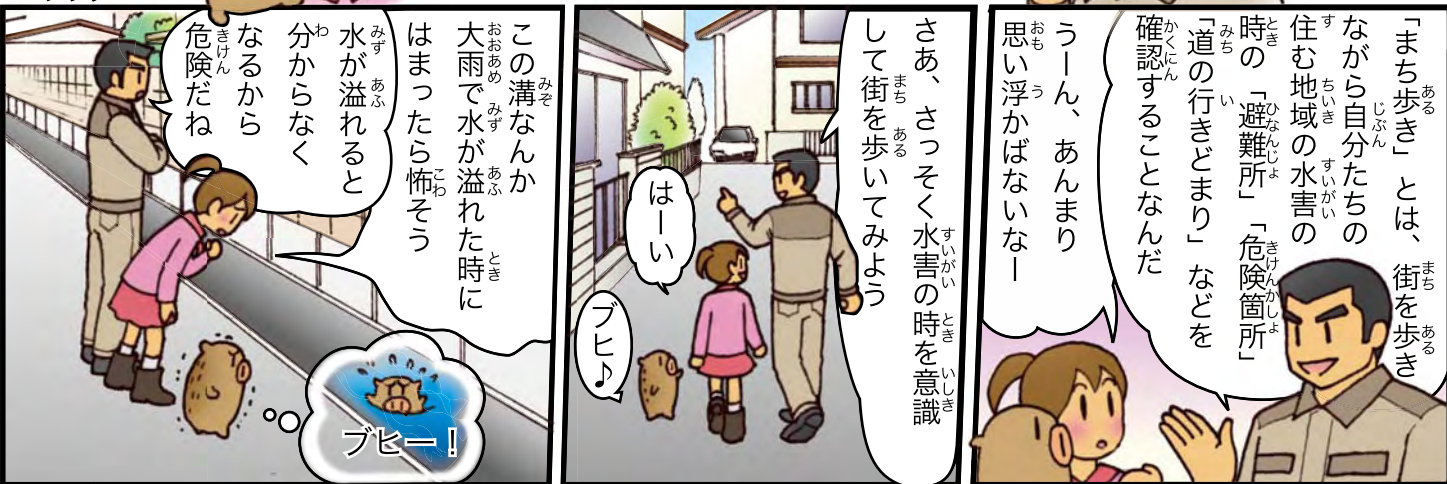
尼崎市東園田町8



尼崎市東園田町4丁目

今後も設置箇所を拡充していきます。

お問い合わせ / 猪名川流域総合治水対策協議会事務局 猪名川河川事務所
TEL: 072-751-1986 FAX: 072-753-8472



伊丹市図上訓練の様様

水害に係る伊丹市防災図上訓練は、協議会事務局が伊丹市を支援し、平成23年11月6日9時30分～12時、伊丹市森本1丁目ケイメゾン・ときめき伊丹市立神津福祉センターで、神津小学校区自主防災会110名の方々が参加され、実施されました。訓練は、各地区別に11班に分かれ、水害が発生した時のことを想定し、河川や避難情報の収集方法、身の回りの危険場所、避難所までの避難路等を班ごとに検討するという内容です。訓練後、参加者の方々から「水害訓練は初めてなので、水害が起こった時、どのように対処してよいかよくわかった」、「訓練の時間が短すぎた」等のご意見がありました。成果は上で紹介する「まち歩き」をして確認されるとイザという時により有効になると考えられます。

伊丹市防災図上訓練の開催

猪名川流域は、清和源氏を祖とする多田源氏発祥の地で、清和天皇の曾孫にあたる源満仲公が970年に多田院（後の多田神社）を建立したのが始まりです。今回は流域の源氏ゆかりの地を巡ってみましょう。

多田銀銅山悠久の館

「多田銀銅山悠久の館」は、北摂の山並みに広がる多田銀銅山を中心として栄えた銀山地区（旧銀山町）の歴史を紹介する施設です。天禄元年（970）には金瀬五郎という人物が多田源氏の祖、源満仲公に銀を献上したところ、褒美として銀山の支配を命じられたと伝えられています。

所在地 兵庫県川辺郡猪名川町銀山字 長家前4番地の1

TEL 072-766-4800

アクセス 能勢電鉄日生中央駅より阪急バス川西能勢口行銀山口バス停下車西へ 徒歩20分

頼光寺

頼光寺は、別名あじさい寺とも呼ばれ、源満仲公の夫人である法如尼の発願で、子の源賢僧都（幼名美女丸）を開基にして源頼光公の子永寿が法如尼の念持仏であった地藏菩薩を本尊として開山しました。梅雨時ともなれば、500株ものあじさいが、色鮮やかに咲きほこります。

所在地 兵庫県川西市東畦野2丁目 17番地2号

TEL 072-794-1165

アクセス 能勢電鉄畦野駅下車北西へ 500メートル

能勢妙見山

「能勢の妙見さん」の愛称で親しまれている、北摂の日蓮宗霊場「能勢妙見山」は、日蓮宗の寺院であり、能勢頼次公が開基です。能勢氏は、鬼退治で有名な源頼光公の子頼国公が能勢に移住し、以来能勢氏を氏としたことがはじまりだと伝えられています。妙見山頂は大阪府最北端の能勢町から大阪湾が一望できる貴重なスポットです。

所在地 大阪府豊能郡能勢町野間中661番地

TEL 072-739-0991

アクセス 川西能勢口駅（阪急電鉄宝塚線）→ 妙見口（能勢電鉄）バスまたは徒歩にて「妙見ケーブルのりば」へ→妙見ケーブル&リフトで山上へ



多田神社

清和源氏武士団発祥の地であり、この地に居城を構えた源満仲公によって天禄元年（970年）に建立されました。

多田神社は清和源氏の霊廟として、源満仲公、源頼光公、源頼信公、源頼義公、源義家公をお祀りしています。

所在地 兵庫県川西市多田院多田所町1-1

TEL 072-793-0001

アクセス 阪急電鉄宝塚線「川西能勢口駅」にて能勢電鉄乗り換え、「多田」駅下車。桜馬場を西へ約1キロ徒歩約15分。

満願寺

創建は、神亀年間（724～728）聖武天皇の命により諸国に満願寺を建立した勝道上人が、摂津国の満願寺として千手観音を本尊に開基したと伝えられています。さらに安和元年（968）清和源氏の祖といわれる満仲公が、この寺に深く帰依したといわれ、歴代源氏一族の祈願所として崇敬を集め発展しました。

所在地 兵庫県川西市満願寺町7-1

TEL 0727-59-2452

アクセス 阪急雲雀丘屋敷駅からバスで約10分

達龍伝説

(川西市)



「達龍」の石碑



(川西市ホームページより)

明治の末、JR「川西池田」(当時の国鉄「池田」)駅前、客待ちをしていた人力夫たちが、不思議な光景を見ました。大雨の中、洞を巻いた黒雲が、南花屋敷2丁目付近の六兵衛大藪と呼ばれる竹藪に降りたのです。雲は、たちまち天高く舞い上がると、空は一変して晴れ上がりました。不思議に思った人々が、恐る恐る竹藪に入ってみると、なぎ倒された竹と、無数の黒い斑点がありました。「藪の主だった大蛇が龍になって昇天し、つめ跡が斑点となって残った・・・」。噂が広がり、遠くから多くの人々が訪れるようになりました。いつしか、ほこらが建てられ、しばらくの間、にぎわいました。

いながわ歳時記

◆高山真菜まつり

戦国時代のキリシタン大名で有名な「高山右近」の生誕地で行われる高山真菜まつり。なにわの伝統野菜「高山真菜」の摘み取り体験や青空市で、豊能の恵みを満喫してください。

日時/平成24年3月25日(日) 10:30~14:30 (受付は12:00まで 雨天決行)

場所/豊能町立高山コミュニティセンター(右近の郷)周辺
アクセス/千里中央から阪急バス「北摂霊園事務所前」下車し、9:43 発の無料シャトルバスで会場へ

駐車場あり
お問合わせ先/(平日) 豊能町農林商工課

TEL 072-739-3424

(休日) 右近の郷

TEL 072-741-1959

◆オーケストラの日 2012

ミミにいちばん、ミミにいいひ！ 3月31日はオーケストラの日です。今回も大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団・合唱団などの出演で大いに盛り上げます。演奏曲目は当日のお楽しみ！

日時/平成24年3月31日(土) 13:30 開演 (13:00 開場)

場所/豊中市立アクア文化ホール (豊中市曾根東町3-7-2)

お問合わせ先/豊中市立アクア文化ホール

TEL 06-6864-3901

◆第48回川西市源氏まつり

源満仲公を祀る多田神社で、源氏ゆかりの武将や姫君に扮したあでやかな懐古行列が巡行します。

日時/平成24年4月8日(日)

場所/多田神社周辺

アクセス/JR宝塚線「川西池田駅」から能勢電鉄「多田駅」下車

お問合わせ先/川西市観光協会

TEL 072-740-1161

◆第11回宝塚オープン

ガーデンフェスタ

宝塚市内にある住宅や会社などが自慢の庭を公開。きれいに手入れされた庭を見ながら散策を楽しみ、ガーデニング愛好家同士の交流を図ります。

日時/平成24年4月20日(金) ~25日(水) 10:00~16:00

場所/宝塚市内随所

*市役所や市内の阪急各駅にあるガイドマップをご覧ください。

アクセス/阪急宝塚線「山本駅」下車ほか

お問合わせ先/あいあいパークオープンガーデン

TEL 0797-89-5933

◆牡丹と芍薬祭り

宝塚と苗や花のやりとりをしてきた各地からの里帰りをはじめ、約2000株の牡丹が開く時期に長谷牡丹園を開園。

日時/平成24年4月25日(水) ~5月下旬 9:00~17:00

(受付は16時半まで)

*開園期間は牡丹・芍薬の開花状況によって変更する場合があります。

入園料/大人300円 小・中学生100円<小学生未満無料>

場所/長谷牡丹園

アクセス/JR福知山線「武田尾駅」から阪急田園バス「長谷公民館前」下車 徒歩7分

駐車場には余裕がありません。ご来園は公共交通機関をご利用ください。

お問合わせ先/宝塚市役所農政課

TEL 0797-77-2036 (直通)

開園期間中は、長谷牡丹園

TEL 0797-91-1616

<http://www.nagatani-btn.com/>

総合治水推進週間

出水期前のこの1週間は、総合治水対策の役割や大切さを考える期間で、猪名川流域でもパネル展などが催されます。川をはん濫させないようさまざまな治水・防災対策が行われていますから、ぜひ関心を持ち、身近でできることに取り組んで下さい。

期間

5月15日(火)~21日(月)

『表紙の情景』

猪名川上流の能勢町野間稲地の野間川沿いには、ケヤキでは府下最大の「野間の大けやき」(樹齢1000年以上、国天然記念物)があります。樹勢回復事業など地元を始め様々な関係者のご努力で樹勢は旺盛で、またアオバズクを始め野鳥なども多く、猪名川流域の人気スポットの一つです。

編集後記

水害に対して安心、安全な猪名川流域づくりには、河川管理者や自治体、地域住民が一体となって取り組む必要があります。このパンフレットがその取り組みのきっかけの一つとなれば幸いです。

この冊子は再生紙を使用しています。